

平成28年度 中学校社会科副読本 「石巻市の歴史」

指導事例 歴史的分野 『中世の日本』 「東アジア世界とのかかわりと社会の変動」

- 1 指導対象学年 1 学年
- 2 年間指導計画での位置づけ
 - (1) 単元名 「中世の日本」 (小単元「東アジア世界とのかかわりと社会の変動」)
 - (2) 単元目標
 - ・ 武家政権が誕生して武士の支配がしだいに全国に広まり、武家社会が発展したという大きな時代の流れを多面的・多角的に追求することができる。
 - ・ 元寇，日明貿易，琉球の国際的役割など，この時代に東アジア世界と密接なかかわりが見られたことや，それが国内の政治に影響を及ぼしたことについて考えることができる。
- 3 指導にあたって

東アジア世界とのかかわりを背景に，鎌倉幕府の滅亡から戦国大名の登場までの武家社会の展開を理解し，その知識を身に付ける。その際に，『石巻市の歴史』を活用し，身近な石巻地区の事例に触れることで，自分たちの住んでいる地域にも及んでいることに気付かせたい。
- 4 教科書 P 77 「分国法の例」
- 5 副読本 P 43 「伊達氏の隆盛」
- 6 単元の学習・評価について (7時間扱い)

配時	学習内容	評価
1	モンゴルの襲来と日本 配当時間 1	【思】モンゴルの襲来が国内の政治に及ぼした影響を，御家人の動きから考察することができたか。
2	南北朝の動乱と室町幕府 配当時間 1	【思】建武の新政から南北朝の動乱に至る経過や，動乱がもたらした武家社会の変化を考察することができたか。 【知】新たな権限をもった守護が大名となり，後の政治に影響を及ぼすことに気付き，幕府の特色を指摘できたか。
3	東アジアとの交流 配当時間 1	【技】日明貿易，琉球の国際的役割，蝦夷地の動きなどを，地図の資料を活用してまとめることができたか。
4	産業の発達と民衆の生活 配当時間 1	【思】農業や商業・手工業の発達が当時の社会に及ぼした影響について考察することができたか。
5	応仁の乱と戦国大名 配当時間 1	【関】自分たちが住む地域の戦国大名に関心をもち，その政策について意欲的に調べることができたか。 【技】応仁の乱の背景と影響を理解し，戦国大名の分布図から，下剋上の風潮の広まりを読み取ることができたか。
6	室町文化とその広がり 配当時間 1	【知】武家文化と公家文化の融合など，室町時代の文化の特色を資料を通してとらえることができたか。
7	・ 東アジア世界の朝貢体制と琉球王国 ・ 室町時代の生活文化と現代	【知】個々の事象の内容や，人物が行った内容を正しく理解し，室町時代に生まれた事象で，現代に受け継がれているものに気付いている。

7 本時の学習

(1) 題材名 「応仁の乱と戦国大名」

(2) 目 標

- ・自分たちが住む地域の戦国大名に関心をもち、その政策について意欲的に調べることができる。 【関心・意欲・態度】
- ・応仁の乱の経過と影響について理解し、戦国大名の分布図から、下剋上の風潮が広がったことを読み取ることができる。 【資料活用の技能】

(3) 本時の指導にあたって

一斉指導による共通学習で基礎的・基本的な事項を理解させた上で、設定した学習課題を追求する学習を行うことで、自己・相互評価の力を養うといった単元構成を工夫する。その中で、生徒の気付きや素朴な疑問等を積極的に引き出し、生徒には「なぜそうなのか」ということを常に意識させながら考えさせ、戦国大名が分国法を制定した理由を意見として出させながら、背景や影響について理解させることを重視していく。

授業の展開としては、個人やグループで追求する場面では、教科書や資料から読み取った事実の意味を考えて自分の考えを記述させてから、意見の交流につなげていく。最後に、基礎学力の定着を図るために個人でまとめる時間を確保し、適正な表現力を身に付けさせたい。

また、社会科副読本『石巻市の歴史』の活用方法として、当時、奥州の支配が大崎氏から伊達氏に移って、東北地方で最も有力な大名となり、「塵芥集」がどのような影響を与えたのかを考えることにより、より身近に感じることで関心をもつことができるようにしたい。

(4) 学習過程 (別紙)

(5) 評 価

- ・自分たちが住む地域の戦国大名に関心をもち、その政策について意欲的に調べることができたか。 【関心・意欲・態度】
- ・応仁の乱の経過と影響について理解し、戦国大名の分布図から、下剋上の風潮が広がったことを読み取ることができたか。 【資料活用の技能】

(6) 資 料 (別紙)

(4) 学習過程 (別紙)

段階	学習活動・学習内容	教師の支援
導入 5分	<p>1 本時の学習課題をつかむ。(ノートに記入)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>戦国大名は、どのようにして国を治めようとしていたのか。</p> </div> <p>※戦国大名の立場になって、国を治めることが本時の課題であることをつかむ。</p>	<p>・この段階ではまだ教科書を開かせない。</p> <p>・元寇、応仁の乱の様子が分かる資料を提示し、戦の意味や変化に気付かせる。</p>
展開 40分	<p>2 応仁の乱の戦いの様子や原因を、発問に答えながら板書事項を知識として理解する。 ※教科書 p 76の旗を見て、一揆が広がった背景とその後の様子を考える。</p> <p>3 どのような大名が守護大名から戦国大名として生き残ったのか理解し、社会の変化を様々な立場からとらえる。 ※教科書 p 77の地図を見て、確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>もし、自分が戦国大名だったら、どのような政策や法律を作って、国を治めるか。</p> </div> <p>・18歳以上の男子には兵隊として働いてもらう。 ・年貢を納めない者は処罰する。 ・勝手に他国へ行ったり、農民に武器を与えない。</p> <p>4 学習課題の検討 教科書 p 77の「分国法の例」を見て、戦国大名が分国法を制定した理由を考え、まとめる。また、当時の石巻地方で用いられた「塵芥集」の資料を配付し、読み取る。 ※『石巻の歴史』 p 43を読む。</p> <p>5 学習課題の発表 戦国大名が何を考えていたかを想像し、当時の状況をつかむ。</p>	<p>・応仁の乱の背景や、都が戦場になったことの影響等について説明する。 ・旗に書かれている文字の意味を確認し、どのような思いで行ったのか発問する。</p> <p>・戦国時代に下剋上で大名になった人物にも触れ、伊達氏に気付かせる。また、社会の変化を「農民」、「武士」「都市の人々」の立場から考えさせる。 ・この時点で教科書を閉じさせ、自由な発想で考えさせる。</p> <p>・全員が発表するよう指示し、机間指導の中で他の生徒の意見を聞きながら思考を練り上げていくよう助言する。 ・本当にそれで戦国時代を生き抜けるか、何か足りなくないか等の補助発問をする。</p> <p>・「分国法の例」を読ませ、軍事力の強化と領国支配の面を考えていたこと、共通点や相違点に気付かせながら考えさせる。 ・石巻地方の支配が伊達氏に移ることを確認させる。</p> <p>・各個人の発表内容を黒板に教師が書く。その際、内容が重なっているものは記入せずに、着目すべきポイントを焦点化する。</p>
終結 5分	<p>6 学習課題の最終判断(本時のまとめの記入) 自分の考えと級友の発表を参考に、ノートにまとめる。 ※「戦国大名は～」から書き出す。</p> <p>7 次時の課題を確認する。 室町時代の文化を学習する旨を知る。</p>	<p>・机間指導で、ペンが進んでない生徒には、読み取りと他の生徒の考えを参考に考えさせるなどの助言を行う。 ・戦国大名は軍事面だけでなく、農業や商業でも工夫し、国を豊かにしようとしていたことに気付かせる。</p>